



事業番号	07 03 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	IT産業振興事業費	部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課			
		実施期間	H27 ~	E-mail	ritti-it@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				②県民の豊かさ全国トップレベルを維持			
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-5 地域に根差した産業の振興		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入							

## 1 現状と課題

目指す姿	Society5.0時代のデジタル社会を担うIT人材・IT企業を集積させ、県内産業のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進や革新的なITビジネス創出を促進させる	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年9月に信州ITバレー構想を策定、令和2年1月に信州ITバレー推進協議会(NIT)を設立</li> <li>WEB活用によるセミナーや情報交換、大学生対象のIT人材育成事業等を実施。情報発信プロモーション事業として「Nagano Fledge」を開催</li> <li>県内IT企業のビジネス創出を促すため、産学官による共創の場(エコシステム)を形成し、地域資源の活用やニューノーマル対応を見据えた新たなITシステム開発を支援</li> <li>首都圏等のIT人材の誘致・定着の推進</li> </ul>	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>信州ITバレー構想の実現に向けた産学官の連携体制の強化</li> <li>企業を中心にワーケーション導入・実施が進んでいない</li> </ul>
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>NITを中心とした産学官連携によるプロジェクトへの支援や国内外への情報発信</li> <li>都市圏企業等に向けた広報を継続しつつ、地域のネットワーク形成や優良事例の横展開を支援することによる県全域の魅力向上</li> </ul>

## 2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>信州ITバレー推進協議会運営事業</b></li> <li>構想を推進するため、協議会に専門コーディネータ(2名)を配置し、信州ITバレー推進協議会の運営や情報発信・プロモーションを実施</li> <li>ユーザ企業におけるデジタル技術活用や産業DXを支援するコーディネータ(2名)もあわせて配置、ITビジネスの需要・供給双方の立場を繋ぐ体制を強化</li> </ul>	 <p>県内事例視察</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>地方回帰の流れを捉えたIT人材誘致の推進</b></li> <li>信州リゾートテレワーク推進チームにおける先進事例の共有と関係者間の連携の場づくりの継続、発信力のある方のリアルな体験談や各ワークスペースでのセキュアでストレスフリーな利用環境を見える化による利用促進</li> <li>県外IT人材に「おためし」で県内に住んで仕事をする機会の提供、移住関連事業者市町村事業との連動による定着度向上</li> </ul>	 <p>おためしナガノ参加者の交流</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】工科短期大学校と県内大学等が連携しデジタル人材の育成を行うことで、DX推進に寄与する人材を輩出	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	AI・IoT等導入率	%	13.5	↑	24.8	↑	30.0	50.0
2	「おためしナガノ」移住支援件数	件	13	↓	12	↑	24	12
3	リゾートテレワーク実施者数	人	231	↓	210	↑	400	600
4								
5								

区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	
	前年度繰越	0	0	要求
当初予算	62,131	124,208	予算案	
補正予算	22,968	0		
合計(A)	85,099	124,208	要求	278,060
うち一般財源	35,623	113,530	予算案	240,692
決算額(B)	70,864			
職員数(人)	3.0	3.0		3.0

設定理由	成果指標	<ol style="list-style-type: none"> <li>県内産業のDX、デジタル化対応の状況を把握する上で、客観的に判断ができる妥当な基準であることから本指標を設定</li> <li>県内へのIT人材等の呼び込み・集積の成果が把握できる基準であることから本指標を設定</li> <li>県内へのIT人材等の呼び込み・集積の成果が把握できる基準であることから本指標を設定</li> <li></li> <li></li> </ol>
	目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>「信州ITバレー構想」の推進目標であるR3年度50.0%の達成が困難である見込みのため、据え置き。</li> <li>同程度事業費年度と同程度で設定</li> <li>過去の実績値以上を設定</li> <li></li> <li></li> </ol>

事業番号	07 03 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	IT産業振興事業費		部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	信州ITバレー構想推進事業	32,088 千円	59,293 千円	要求 257,611 予算案 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	・推進協議会運営事業 ・情報発信、プロモーション事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門コーディネータ(2名)を配置し、構成機関の連携強化</li> <li>・ユーザ企業におけるデジタル技術活用や産業DXを支援するコーディネータ(2名)も配置、ITビジネスの需要・供給双方の立場を繋ぐ体制を強化</li> <li>・WEBサイト等による国内外に対する情報発信</li> </ul>		
2	コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業	補助金 委託	県内IT企業の新たなビジネス創出を促すため、地域課題解決や産業DXの推進に取り組む産学官コンソーシアムを活用した連携プロジェクトを支援 <b>【補助予定件数:30件、補助総額:195,000千円】</b>		
3	デジタル技術活用による価値創造事業	補助金	ユーザー企業に対し、デジタル活用状況のステージや形態に応じた2種類の事業に対する経費を補助 <b>【補助予定件数:計7件、補助総額:14,000千円】</b>		
4	デジタル革新に挑むDX人材育成講座	委託	・工科短期大学校と県内大学等が連携し、様々な学部・学科の学生に対しIT分野に精通しているスペシャリストからの講義を開催		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	おためしナガノ2.0事業	10,977 千円	18,403 千円	要求 9,689 予算案 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	おためしナガノ2.0事業費補助金	補助金	県外のITを中心としたクリエイティブ人材・企業が、最大6か月間程度、県内に「おためし」で住んで仕事をする場合に要するオフィス利用料や交通費等の経費を補助 <b>【補助予定件数:10組、補助総額:6,000千円】</b>		
2	おためしナガノ2.0事業運営事業	委託	参加者募集に向けた事業PR、参加者募集・選考等を実施		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	リゾートテレワーク推進事業	37,331 千円	46,512 千円	要求 10,760 予算案 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	広報事業等	委託	ワークスペースの通信・設備環境の標準水準の検討、都市圏企業等に向けたPR、信州リゾートテレワーク推進チームの運営		